

バリアフリー体験 (万代シテイバスまつり)

日 時：令和7年9月20日（土） 10：00～15：30

場 所：万代シテイ通り（新潟市）

バリアフリー体験参加者：約70名

実施概要

万代シテイバスまつり2025でバリアフリー教室を開催しました。バリアフリー体験ではノンステップバスに車椅子で乗降する体験と体におもりや装具を装着する高齢者疑似体験、点字ブロックと白杖、アイマスクを着用する視覚障害者体験を実施しました。

体験を通じて、障害の有無にかかわらずお互いに支え合うことの大切さを伝えました。



公共交通利用促進
PRキャラクター
のりたろう

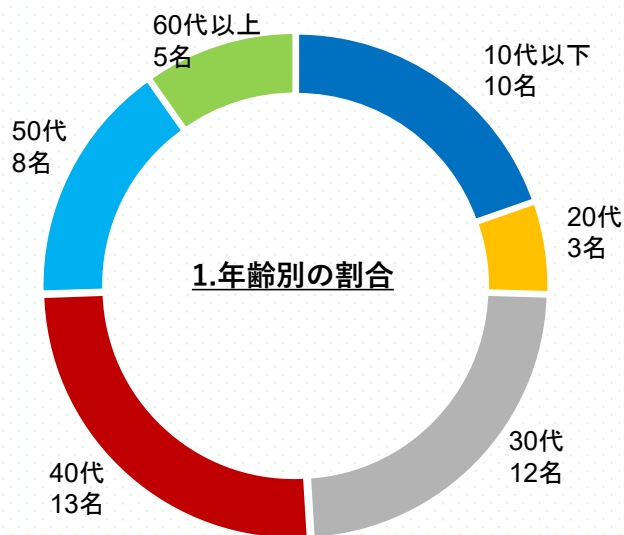


会場のようす



バリアフリーに関するアンケートの実施

万代シテイバス祭りに来場し、体験していただいた参加者を対象にバリアフリー体験の感想や「心のバリアフリー」に関するアンケートを実施しました。（n=51）



バリアフリー体験参加者の感想

【視覚障害者体験】

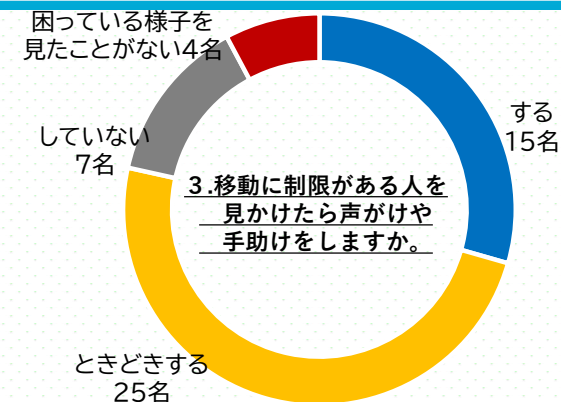
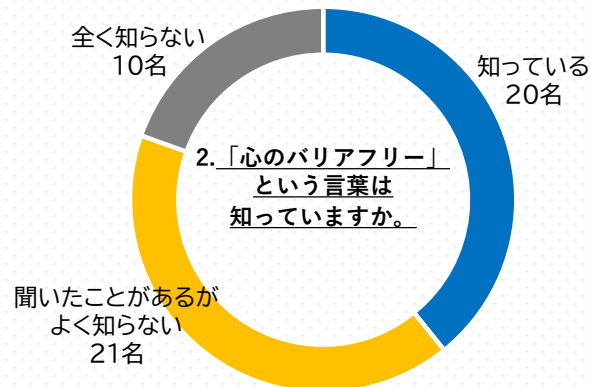
- ・当事者の気持ちになれた。
- ・バリアフリーとはいえまだまだ壁は多いので積極的に声をかけようと思った。
- ・点字ブロックの意味を子どもに伝えられた。
- ・日常生活を送るのに大変さが分かった。
- ・点字ブロックの上を杖を使って歩いたが全く分からなかった。
- ・見えやすい配色・見えにくい配色がありデザインで全然違うことが驚いた。

【車椅子体験】

- ・バスに車椅子用ボタンがあることを初めて知った。
- ・バスの乗降の際に、言葉がけをしてもらおうと安心することができた。スピード、押す際も言葉がけが必要と感じた。
- ・障害者の方は勇気を出して外に出ていると思うので困っていたら引き続き助けようと思った。
- ・普段、中々できない体験ができ良い経験となった。
- ・少しの段差・角度でも大変だと感じた。
- ・人混みは進みにくいことが分かった。
- ・スロープの乗降が難しかった。

【高齢者疑似体験】

- ・歩くのがやっとで見える世界が違った。
- ・高齢者の気持ちを理解できた。
- ・行動がおっくうになると感じた。
- ・動くのが面倒に感じた。
- ・重さは成人男性ですので何とかなったが、関節が不自由になるのが大変だった。
- ・結構体が重かった。
- ・体験自体やったことがなく新鮮だった。



4.「心のバリアフリー」を实践できる人を増やすにはどうすればよいと思いますか。（複数回答可）

